

(実践報告) 抄録用紙

演題名 (全角 80 字以内)	他分野との交流による IPE 実践
演者名	西出 真悟 1) 宇戸谷 翔太 2)
所属	1) オレンジホームケアクリニック 2) Machi☆コラ

目的

在宅ケアにおいて、多職種連携は重要であるが、現在の医学部教育において多職種連携における教育が充実しているとは言い難い。近年一部の医学部教育において、IPE を実践している所もあり、学生の間から、多職種、他分野との連携の重要性が認識され始めている。今回、多職種連携、他分野との連携を通して、地域作りや地域医療について考えるサークルの活動を開始したため、その活動について報告する。

実践内容

定期的なまちづくりをテーマに、集会を重ねることで、他分野や異業種の理解を深めている。医療、福祉、看護はあくまでも町の中の一分野であることを理解し、町のためにそれぞれの専門教科が何をできるのかを、それぞれのテーマから検討している。

実践効果

どの学科でどのような教育がなされ、どのような効果が生み出されるのか。他分野、異業種の視点で語り合うからこそ、自分たちの専門性を理解し、多職種との連携による効果の大きさを知ることができている。

考察

専門家になりすぎている学生だからこそ、他分野を柔軟に受け入れ、多職種連携の効果の大きさを実感することができる。学生の間はこの力の大きさを知ることが、今後の地域医療構築において大きな意味を持つことになると思う。